

第 191 回

クラシックファンのためのコンサート

2018年 10月18日(木)大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

蒲生祥子 ピアノリサイタル

〈プログラム〉

ラヴェル

亡き女王のためのパヴァーヌ

ベートーヴェン

交響曲 第1番 Op.21 (リスト編曲)

シャブリエ

狂詩曲「スペイン」



第191回は蒲生祥子氏によるピアノリサイタルを行いました。パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で研鑽を積み、ソロにとどまらず室内楽や伴奏者としても活躍されています。

今日のプログラムは、ラヴェルの「亡き王女のためのパヴァーヌ」、ベートーヴェンの「交響曲第1番」(リスト編曲)、シャブリエの「狂詩曲スペイン」という、オーケストラで演奏される曲でした。“オーケストラの曲をピアノ1台で演奏するには、いろいろな音色を出さなければならない”とお話されていましたが、軽やかな音色や豊かな低音の響きなど様々な楽器の音が見事に表現され、とても印象深い演奏会となりました。



〈ご来場者のアンケートより〉

- ・ベートーベンは勿論の事、シンフォニーを想像しつつ聴きました。大変情熱的な演奏で“音”としての印象が残るリサイタルでした。
- ・挑戦する姿勢が見えて圧倒されました。色んな楽器が聞こえて来ました。濃い1時間でした。
- ・1台のピアノでここまで豊かに表現できるのかという驚きとその力量に感激しました。
- ・パヴァーヌはフランス風の軽いタッチで聴かせてくれました。よくこれだけ速く演奏できるなあと感心するばかり。アンコールの悲愴も見事でした。

NPO法人 クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB classicfan.jp MAIL contact@classicfan.jp